

## 令和3年中の救急・救助統計について 熊野市消防本部

熊野市消防本部における、令和3年中の救急出動は2,094件で、搬送した人数が1,944人となり、前年と比べると231件、230人の増加となりました。

救急出動件数が増加した要因としては、令和2年中は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、住民の外出自粛や病院の受診控えなどにより、出動件数が減少傾向にありました。令和3年に入り、ワクチン接種が進むとともに新しい生活様式を取り入れることで、徐々に日常を取り戻しはじめたことが増加要因のひとつではないかと推測されます。

各署別では、熊野市消防署（本署）が955件（前年比86件増）で全体の46%を占めています。次いで、御浜分署511件（99件増）、紀宝分署の451件（52件増）、紀和分署177件（6件減）となっています。

また、飛鳥出張所内に設置しているあすか救護センターでは、救急車到着までの間に応急処置を実施しており、25件（5件減）出動しています。

事故種別では、急病による要請が圧倒的に多く、1,431件（177件増）と全体の68%を占めています。次いでケガなどによる一般負傷が345件（29件増）、病院からの転院搬送が187件（25件増）、交通事故が76件（3件減）となっています。

ヘリ関係では、ドクターヘリの要請が73件（35件増）となりました。内訳は、交通事故や労働災害事故などの外傷によるものが27件（15件増）、疾病によるものが37件（17件増）、病院間搬送が9件（3件増）となっています。新型コロナウイルス感染症拡大前の一昨年と比較しても19件の増加となっており、増加の要因としては、119番通報を受けた際の聞き取り内容により、通信指令員が通報段階で早期にドクターヘリを要請する件数が増加したことが考えられます。

また、防災ヘリの要請は2件（1件減）で救助事案1件、救急事案（転院搬送）1件となっています。

令和3年中の救助出動件数は、14件と前年より4件の減少となりました。

内訳は、交通事故が3件（4件減）、水難が2件（3件減）、機械による事故2件（2件増）その他7件となっています。

発生場所別では、熊野市が9件（2件減）、御浜町5件（増減なし）、紀宝町0件（2件減）となっています。

また、救急要請理由は、急病や住宅等での転倒が高い比率となっております。このことから病気に対する予防対策はもちろんのこと、特に多くみられる高齢者の転倒防

止対策の実施が望まれます。

今後も転倒によるケガの防止等「予防救急」の啓発に努めるとともに、住民の皆様への救急車の適正利用について、引き続きお願いしてまいります。

#### 救急関係

過去5年間の救急出動件数

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
件数	2,217	2,115	2,216	1,863	2,094

署所別出動件数

	合計 (件)	本署	御浜分署	紀宝分署	紀和分署
令和2年	1,863	869	412	399	183
令和3年	2,094	955	511	451	177

事故種別出動件数

	火災	水難	交通	労災	運動	一般 負傷	加害	自損	急病	転院等	その他
令和2年	0	3	79	21	9	316	9	10	1,254	162	0
令和3年	1	2	76	30	5	345	2	14	1,431	187	1

#### 救助関係

過去5年間の救助出動件数

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
件数	21	17	16	18	14

地域別出動件数

	合計(件)	熊野市	御浜町	紀宝町	管外
令和2年	18	11	5	2	0
令和3年	14	9	5	0	0

事故種別出動件数

	交通事故	水難事故	機械による事故	その他の事故
令和2年	7	5	0	6
令和3年	3	2	2	7